

### 安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることと生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

**注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
分解・修理・改造禁止
- 交流 100V 以外では使用しないこと  
使用禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
埋込禁止
- アースを確実に取り付けること  
アースを取り付ける
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- アースを確実に取り付けること  
取付注意

### 注意

- 浴室など湿気の高い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)  
使用禁止
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
取付禁止
- 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
取付禁止
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること  
取付禁止
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
取付注意
- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配座をすること  
取付注意
- 薄板の金属部(壁内ラッス網など)と接触しないよう取り付けのこと  
取付注意

### 注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
取付注意
- 落下によりけがをすること  
取付注意
- 部品の取り付けは確実におこなうこと  
取付注意
- 作業は 2 人以上でおこなうこと  
取付注意

### 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
  - ・大工工事【設置のための下地工事等】
  - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ・利用以外の配線接続等】
  - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
  - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。調理機器はレンジフードの前より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m<sup>2</sup>/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが貼られています。壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材料を使用してください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
分解・修理・改造禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
埋込禁止
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラッス網など)と接触しないよう取り付けのこと  
取付注意

### 注意

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
取付禁止
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること  
取付禁止
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
取付注意

### 注意

- コンクリート、タイル壁の場合
  - あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
  - 土壁の場合
    - 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。
- 別売部品の準備  
排気工事に際して別売部品の準備が事前に必要です。
- 標準取付寸法  
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフードの下端まで 80cm 以上です。  
※ 防火予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。
- 電源コンセント・ブレーカー  
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。  
**お願い**  
必ずアース(D 種接地工事)をしてください。レンジフードが動作することがあります。

### 各部のなまえ

フード、電源プラグ、ファン、ベルマウス、オイルバック、LED照明、エアスリットフィルタ(グリッドフィルター)、整流板、スイッチ、電源プラグ、ファン、ベルマウス、オイルバック、LED照明、エアスリットフィルタ(グリッドフィルター)、整流板

### 付属品

- 座付ねじ(φ5.1×45) 4本  
本体の取り付けに使用します。
- 引掛ねじ(φ5×35) 2本  
本体の取り付けに使用します。
- 排気口 1個  
本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。
- ソフトテープ 1本  
排気口とダクトのすきまをふさぐのに使います。

### 製品寸法図

H寸法(別売ダクトカバー使用時)

型名	H寸法
DCG-280*	700-800
DCG-380*	800-1000

注) 1 排気方向は上方・後方排気です。(後方排気の場合は別売のL形ダクトを使用)  
2 ダクトカバーは型名によって寸法が異なります(上表参照)。※ 後方排気の場合、製品高さ 700mm 以上必要です。  
3 ダクトカバー型名の「\*」には色記号が入ります。

### 製品寸法図

本体下部取付穴詳細 (単位: mm)

本体取付穴詳細 (単位: mm)

## 1. 付属品の確認

### 注意

- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること  
手袋をする

付属品を確認します。  
梱包箱から付属品を取り出し、上頂中央の付属品一箇より不足がないか確認します。

**お願い**

- 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- 保護用のクッション材と固定用テープはキズ・破損防止のため、「7. 固定テープの取りはずし」まではずさないでください。(図 1-1)
- 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

## 2. 排気方向の決定

### 警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けのこと  
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意

### 注意

- 浴室など湿気の高い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)  
使用禁止
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
取付禁止

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。(ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。)

また、コンセントの位置を確認してください。(「6. 電気配線」図 6-1 参照)

2 φ150 のステンレスダクト、またはパイプダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

■ 上方排気の場合 ■ 後方排気の場合(別売品のL形ダクトを使用する場合)

## 2. 付属品の確認

### 注意

- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること  
手袋をする

付属品を確認します。  
梱包箱から付属品を取り出し、上頂中央の付属品一箇より不足がないか確認します。

**お願い**

- 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- 保護用のクッション材と固定用テープはキズ・破損防止のため、「7. 固定テープの取りはずし」まではずさないでください。(図 1-1)
- 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

## 3. 排気方向の決定

### 警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けのこと  
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意

### 注意

- 浴室など湿気の高い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)  
使用禁止
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
取付禁止

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。(ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。)

また、コンセントの位置を確認してください。(「6. 電気配線」図 6-1 参照)

2 φ150 のステンレスダクト、またはパイプダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

■ 上方排気の場合 ■ 後方排気の場合(別売品のL形ダクトを使用する場合)

## 3. 排気方向の決定

### 警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けのこと  
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意

### 注意

- 浴室など湿気の高い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)  
使用禁止
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
取付禁止

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。(ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。)

また、コンセントの位置を確認してください。(「6. 電気配線」図 6-1 参照)

2 φ150 のステンレスダクト、またはパイプダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

■ 上方排気の場合 ■ 後方排気の場合(別売品のL形ダクトを使用する場合)

## 4. 本体の取り付け

### 注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
取付注意
- 部品の取り付けは確実におこなうこと  
取付注意

**お願い**

- レンジフードの前および左右方向の水平を確実にだしてください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

1 だるま穴用座付ねじ 2 本と引掛ねじ 2 本を壁面にねじ込みます。(図 4-1)

1) 裏面の原寸大型紙を参照し、上側のだるま穴位置(2ヶ所)に付属品の座付ねじ(φ5.1×45) 2 本をねじ込み、壁面のすきま 5mm まで締め付けます。

2) 下側のだるま穴位置(2ヶ所)に付属品の引掛ねじ(φ5×35) 2 本をねじ込み、しっかりと締め付けます。

※ 引掛ねじが壁に食い込まない程度に締め付けてください。引掛ねじが壁に食い込んでしまうとフードが取り付けられないおそれがあります。

2 本体を引掛ねじで固定します。(図 4-2)

取り付けた座付ねじ 2 本と引掛ねじ 2 本に本体のだるま穴を引掛けた後、上側の座付ねじ 2 本をしっかりと締め付けます。

## 5. ダクトと排気用部品の接続

### お願い

- ドリリングタッピングねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピングねじ使用範囲以内に固定してください。(図 5-1)

1 排気口をダクトに接続します。(図 5-3)

1) 本体排気口取付位置に取り付けている座付ねじ 2 本をはずします。

2) L形ダクト(別売品)を排気口取付部にある差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした座付ねじ 2 本で取り付けます。

2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図 5-3)

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い(図 5-4)

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようすると、排気口と排気口の設置面(製品表面等)が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

## 6. 電気配線

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
分解・修理・改造禁止
- 交流 100V 以外では使用しないこと  
使用禁止
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意
- アースを確実に取り付けること  
アースを取り付ける

1 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

■ 運転時、各送風の排気量が正しくおこなわれていることを確認してください。

■ 異音、振動がないことを確認してください。

■ 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。

■ 取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

■ 製品保護のため、はずした保護用クッション材をもとの状態に取り付けてください。

## 7. 固定テープの取りはずし

1 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押してははずします(①)。(図 7-1)

2 整流板を両手で支えながら下へゆっくりとおろします(②)。(図 7-1)

3 整流板の後ろを持ち上げ、整流板用引掛金具をはずします(③)。(図 7-2)

※ 必ず左右同時にはずしてください。整流板引掛金具の変形の原因になります。

4 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押してははずします(①)。(図 7-1)

5 オイルバックとエアスリットフィルタを固定しているテープをはがします。(図 7-3)

6 エアスリットフィルタをはずし、ベルマウスを固定しているテープをはがします。(図 7-3)

※ 固定テープをはずした後は、はずした部品をもとどおりに取り付けてください。

7 本体上部を覆っているステンレス部品保護マットをはずします。(図 7-4)

## 8. 試運転

### 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
取付禁止

■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

■ 運転時、各送風の排気量が正しくおこなわれていることを確認してください。

■ 異音、振動がないことを確認してください。

■ 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。

■ 取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

■ 製品保護のため、はずした保護用クッション材をもとの状態に取り付けてください。

## 9. お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

■ 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

【製造元】 富士工業株式会社  
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号  
TEL 042(768)3754 (営業部)



## 原寸大型紙

(寸法単位は mm)

### お願い

この型紙は湿気の影響で 2 ~ 3mm 誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

**取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。**

※ 表面は取付説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。

